

通信技術の革新を担う学生論文特集の発行にあたって



通信技術の革新を担う学生論文特集編集委員会

委員長 高橋 応明

研究において、成果をまとめ世に公表することは重要である。特に学生にとっては、研究成果を学位論文としてまとめることが必要となる。その成果の一部を簡潔にまとめ新規性・有効性を主張し、世に知らしめるものが学術論文である。学術論文を学生が初めて書いてみるにあたり、使い慣れた日本語で記した論文を発表する場を提供するというのが本特集の目的である。

第6回となる「通信技術の革新を担う学生論文特集」では、過去の学生特集と同様に、特集テーマとして技術分野を絞ることなく広く通信技術全般を対象とし、学生が筆頭著者となっている論文を募集することとした。今回もこれまで同様に和文論文誌編集委員全員で本特集の編集委員を務めた。お陰様で、本特集に投稿された論文数は、論文32編、レター2編である。投稿して下さった著者の思いに応えるべく、判定にあたっては、学生の潜在能力を勘案した上での慎重な委員会審議、幹事団による全論文の通知文チェックなどを行った。厳正な査読の結果、最終的には論文13編、レター1編を採録することになった。残念ながら不採録になった論文も、不備な点などを丁寧に指摘させてもら

ったので、再投稿を期待している。また、若い学生の研究活動を更にエンカレッジする目的から、採録論文の中から、特に優れた2編を優秀論文賞として選定した。和文論文誌BのWEB (<http://www.ieice.org/cs/jpn/JB/>) 上で受賞論文を確認して頂きたい。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の江藤様に深く感謝申し上げる。この特集企画が今後も継続的に実施され、革新を担う多くの学生の足掛かりとして利用されることを期待したい。

たかはし まさひろ
高橋 応明 (正員) 1989年東北大学卒、1994年東京工業大学大学院博士課程了。同年、武蔵工大助手、1996年同大講師、2000年東京農工大助教授、2004年千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター助教授、2007年同准教授、2013年千葉大学フロンティア医工学センター准教授、現在に至る。博士(工学)、平面アンテナ、RFID、人体と電磁波の研究に従事。2009、2012年本会通信ソサイエティ論文賞優秀論文賞、2009年本会通信ソサイエティ論文賞マガジン論文賞受賞。IEEEシニア会員。著書「RFIDタグ用アンテナの設計」「電磁波工学入門」など。

通信技術の革新を担う学生論文特集編集委員会

委員 幹事 委員	委員長	高橋 応明							
	幹事	佐波 孝彦							
委員		大川 貢	大島 正明	大西 輝夫	小川 剛史				
		小川 猛志	笹森 崇行	塩川 茂樹	末次 正				
		末田 欣子	瀬戸 一郎	平 明德	高橋 徹				
		寺島 美昭	豊田 啓孝	中野 雅之	西森 健太郎				
		長谷川 洋平	濱住 啓之	深田 陽一	福田 盛介				
		船越 裕介	星田 剛司	三上 学	山井 成良				
	山崎 憲一	吉原 貴之							